令和7年度 事務事業評価シート

	±=		134H 7 T/X	- 101 ·	T // L	1 1 2 1						
1 基礎情 _{事業名}	平文	,=,,	11 高 洪 市 米 弗			正层如体	如士八一二世世中	古米亚口	004			
(子事業名)			II愛護事業費 —————			所属部等	都市インフラ整備部	事業番号	224			
予算区分		*	¥常経費事業 ──┃			所属課等	河川下水道総務課	_				
予算科目	会計 01 款	20 項 05 目	15 親事業 021	子事業	05	所属係等	河川下水道計画係					
2 計画(Plan)											
	基本政策	//////////////////////////////////////				Į.	事業区分	令和7年度	予算現額の内訳			
総合計画体系	基本施策	自動表示				○国の制度に	よる義務的事業	項目(節)	金額(千円)			
	単位施策	自動表				○県の制度に	よる義務的事業	役務費	1796			
事業の期間	○単年度のみ	● 単年度網	操返 (開始年度	年月	隻)	○市の制度に	よる義務的事業	委託費	600			
	期間限定複	[数年度 (~	年度)		○ 施設等維持領						
						○ 補助金等交付						
						協議会等の						
古类概而	良好な河川野	環境の創出を図る	ため河川敷の清掃、河川敷	女への植栽	支及びそ	○ その他の事刻						
事業概要	の維持管理作業					仅	拠法令等					
								合計	2396			
目 対象)-4111-BI		意図	河川敷	の清掃	河川敷への植栽	及びその維持管理作業を	ト宝施することに	より、良好な河川環			
的(誰を・何	を)河川敷		(どうしたいか)		出を図る)	274,27 0 2 0 1	0.77 0.77 0.77			
手段			理作業を行う河川愛護団体				; _°					
(どうやって)			持管理できるよう、樹木代	休及い医	*早を夫	2000						
3 現状把	握・実施(Do)	実施(Do)へ)										
	<u></u> 遣・指標の推移				単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度			
. , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			国庫支出金		千円	(決算実績)	(決算見込)	(予算現額)	(予算見込)			
			県支出金									
		財源内訳	地方債		千円							
	事業費		その他		千円							
年間			一般財源		千円	12, 22	7 2, 132	2, 396	2, 396			
トータル コスト			事業費計(A)		千円	12, 22	7 2, 132	2, 396	2, 396			
27.1			業務に必要な人	I	人	2.	0 1.0	1.0				
	人件費	正規職員	延べ業務時間(年		時間	1, 89		1,890				
			平均人件費(年	.)	千円	8, 64		8, 884				
		(A) +	人件費計(B) 		千円	17, 29 29, 51		8, 884 11, 280				
対象数の推移	方向	(A) 1	(0)		113	2 3 , 01	11,010	11, 200	11, 200			
刈豕蚁の推移	刀囘			- L#								
活動指標 (経常・その他	方向 方向			目標 実績								
	///////			大型	/////							
成果指標 (総合計画)	(##////											
(2)この事	<u>////////</u> 孫事業の背景・	<i>\\///////////////////////////////////</i>		NTTT/	<i>V////</i>	<u> </u>	<u> </u>	<i>UHT[[[[[]]]]</i>	<u> </u>			
・関係者(市民、地域、協働の) からどのような意	D担い手、民間事	こ。四川敷の有畑や恒秋及)たことで、良好な河川 出することができた。	環境の保全が図ら	っれたとともに、活動			
	年以内に実施した改 査等からの指摘事項		内 施設の維持管理経費に	施設の維持管理経費に相当する事業費については、維持管理事業費に統合し事務の効率化を図った。								
③ ・事業の対 (複数回答	象者への周知方法に 可)	□ 広報あつぎ □ その他 (市ホー.	ムページ	公民館だ	:より □ ポスタ-	ー・チラシ	SNS)				
④ ・他市の状	況は?(県内や類仏	以団体との比較)	神奈川県の他、他市町	神奈川県の他、他市町村でも同様の事業を行っている。								

評価	(Check)

4	評価 (Check)					
	① 社会的な要請 ・社会的背景や事業環境の変化を踏まえ、現在の社会・経済問題として対応する必要があるか?)	必要性は薄れている(A) 必要性がある(B)	妥当	理由	
必	② 対象者のニーズ・対象者のニーズや利用者の需要・要望は増えているか?	_	減少する見込み(A) 横ばい・増加する見込み(B)	妥当	理由	
要性	③ 行政関与の必要性 ・この事業は、行政が実施する必要があるか?民間 やNPOなどでも実施可能か?		可能である (A) 可能ではない (B)	妥当	理由	
	④ 廃止した場合の影響 ・この事業を廃止した場合、どのような影響があるのか?		影響がない (A) 影響がある (B)	妥当	内容	
r	⑤ 指標の達成度・EBPM※の考え方・指標の目標値は達成できたか?達成できなかった場合、その理由は何か?		未達成(A) 達成(B)	亚业	理由	
	・指標や目標値の設定根拠は? (エビデンスに基づく合理的な根拠)	成	R6活動指標 % R6成集指標////////////////////////////////////	妥当	指標の根拠	
有効性	⑥ 目的への貢献(具体的な成果) ・この事業は、意図した目的に貢献できたか。貢献できなかった場合、その理由は何か?		貢献できなかった(A) 貢献できた(B)	妥当	理由	
L	・具体的な成果の内容は?				成果	良好な河川環境の保全が図られたとともに、活動する団体構成員相互が交流するコミュニティーの場を創出することができた。
	 ⑦ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・同じ目的を持つ類似の事業があり、統廃合・連携はできるか? 	•	可能性がある(A) 可能性がない(B)	妥当	理由	
効率	⑧ 費用対効果の向上・随意契約から入札への変更、デジタル化・DX、外 部委託、指定管理者制度、PFS/SIB※/等により、事 業費の削減・費用対効果の向上は可能か?		余地がある(A) 余地がない(B)	妥当	理由	原材料が高騰していることから、事業費の削減は困難である。
	③ 業務効率化(業務時間・業務量の改善)・作業の見直しや業務改善、デジタル化・DX、外部委託、指定管理者制度等により、業務の効率化は可能か?	-	余地がある(A) 余地がない(B)	妥当		市の関与は最小限であるため、事務改善の余地はないと認識している。
公平	⑩ 受益者負担の適正化・受益者負担は公平・公正になっているか?		なっていない (A) なっている・受益者負担には該当 しない (B)	妥当	理由	受益者負担を求める対象ではない。
	① 制度の周知 ・対象者が公平にサービスを受けられるよう、制度 を十分に周知できているか?		できていない (A) できている・周知の必要がない	妥当	理由	十分に周知しているものと認識している。

を十分に周知できているか?

※I EBPM (Evidence-based Policy Making) …政策の企画をその場限りのエピソードに頼るのではなく、政策目的を明確化した上で合理的根拠(エピデンス)に基づくものとすること
※2 PFS (Pay For Success) …行政課題の解決に対応した成果指標を設定し、指標値の改善状況に連動して委託費等を支払う契約方式
SIB (Social Impact Bond) …事業に係る 資金調達を金融機関等の資金提供者から行い、その 返済等を成果に連動した地方公共団体からの支払額等に応じて行うもの

本善 (Action) へ 4 評価 (Check) で (A) を選択した場合は、「(2)担当課による今後の取組」欄に反映してください。

5 改善(Action)

(1) 事業継続の評価及び見直しの区分

_ \	(1) 争未松枕の計画及の兄直しの区方														
	=	事業の適	合率	評価の判定基準 ▶▶▶		所管課長評価		手法の適正	E率	見直し判定	見直し区分(複数選択可)			(選択可)	
 	必要性	妥当		80%以上	\Rightarrow	拡大or継続		見	効率性 妥当				コスト見直し		PFS・SIB導入
評		女コ	100	70%以上80%未満	⇒	継続	継続	直	划年任 女当	100	現行ど		作業工程等見直し		事業の統廃合・連携
価	有効性	妥当	100	60%以上70%未満	⇒	継続or縮小	和全市党	区	公平性 妥当	100	おり	ш	デジタル化・DX	ш	負担や周知の見直し
L	出が圧	X =	%	60%未満	⇒	縮小or廃止		分	五十正 女当	%			委託・指定管理		その他
	(a) 扣业部に b 7.6% a Fa 49														

		70	00%木両	⇒	循小or)発止					70	L	安託 指正官功	Ĕ ∐	その他
(:	(2)担当課による今後の取組													
	耳	事業推進上の課	題			具体的	な改	善案				備者	ŧ	
今後の取組	管理作業が負担)団体員の高齢 !になってきて		事業	継続の判断はる	それぞれの団体が	行う	ものと認	認識して	いる。				

総評(Follow)へ

_	A	/	_
\sim	200 = W	(Ealla)
8)	総評	(Follo	w /

. 0	MORT (IUIUW)		
	所管部長評	価	具体的な指示事項
	一次評価結果を踏まえた横 断的な視点での評価	継続	引き続き河川愛護団体と協力して良好な河川環境の創出に努めること。

令和7年度 事務事業評価シート

1 基礎情報	報															
事業名					敷管	理事業費	ř				所属部等	都	ボース・カー ボール ボール ボール ボール ボール かっぱい かんしゅ かんしゅ かんしゅ かんしゅう かんしゅ しゅん しゅん しゅん しゅん しゅん しゅん しゅん しゅん しゅん	事業番号		225
(子事業名) 予算区分						費事業					所属課等		J川下水道総務課		<u> </u>	
								Ι								
予算科目	会	計 01	款	40 項 15 目	10	親事業	800	子事業		10	所属係等	祁	J川下水道計画係 			
2 計画(Plan)															
		基本政 党		自動表現								事業	区分	令和7年	度予算	現額の内訳
総合計画体系		*本施		自動表							○ 国の制度に	よる	義務的事業	項目(節)		金額 (千円)
		拉施	\$ ///	//////////////////////////////////////							○ 県の制度に	よる	義務的事業	旅費	5	
事業の期間		単年度	のみ	● 単年度網	喿返	(開始年月	隻		年度)		○市の制度に	よる	義務的事業	需用費	130	
	0	期間限	定複数	数年度 (~		年度)		○ 施設等維持	管理	事業	役務費		298
											(補助金等交			委託料		6412
											協議会等の		金	使用料及び賃		26
										○ その他の事			公有財産購	入費	511	
事業概要	水路	熱を適	切に作	管理するため、	除草化	乍業等を行	う。				村	艮拠法	令等			
														合計		7382
														口前		7302
目 対象 的 (誰を・何を	<u>*</u>) 水路	敷に関	する	事務全般		意図 (どうした		水路	敷に関	目する	維持管理事業を	円滑	に執行する。			
手段	4 50						DI: 1.1.									
(どうやって)	会議	等への	出席、	、維持管理用消	耗品0	の購入、賠	價責任例	呆険、除]	草等委	託料	、境界標購入費					
				ľ施(Do)へ												
3 現状把	握・実	施(I	Do)								令和5年度		令和6年度	令和7年度		令和8年度
(1)事業費	・指標	の推科	多 						È	単位	(決算実績)		(決算見込)	(予算現額)		(予算見込)
									千円							
						!	県支出金	È		千円						
	事	業費		財源内訳			地方債			千円						
							その他 一般財源	5		F円 F円	E E/	10	E 44E	7 20	20	9, 925
年間 トータル			L		事業	≹費計(A		K		行	5, 54 5, 5 4		5, 445 5, 445	7, 38		9, 925
コスト					7.4		<mark>′</mark> に必要な	.人工	_	人	1.		1. 0	•	0	1. 0
				正規職員			美務時間			寺間	1, 89		1,890	1, 89		1,890
	J	.件費			ļ	平均.	人件費((年)	=	千円	8, 64		8, 884	8, 88		8, 884
			L		人件	‡費計(B)		=	千円	8, 64	16	8, 884	8,88	34	8, 884
				(A) H	- (E	3)			=	千円	14, 19	94	14, 329	16, 26	66	18, 809
対象数の推移		方向														
活動指標								目標	票							
(経常・その他	!)	方向						実績	責							
成果指標																
(総合計画)																
(2)この事	務事業	の背景	計・	民意見等												
・関係者(i 者、議会等) れているか)からと			担い手、民間事 見や要望が寄せ		×路敷沿線	の地権者	針から、	全草等	の要	望が寄せられてい	いる。				
② ・直近3か年以内に実施した改善や見直し等の内容は?(監査等からの指摘事項を含む。)					和7年度	及び令和	ロ8年度に	こつい	ては、	防草対策の経	費を迫	追加的に計上した。				
3 事業の対象有べの同知方法は?				」 広報あ [*] □ その他	つぎ (□市ホ	ームへ	ページ	□ 公民館	だより	J	ー・チラシ		SNS)		
④・他市の状況は?(県内や類似団体との比較)					事	事務事業の性質上比較する必要性はない。										

評価	(Check)	

4	評価 (Check)					
	① 社会的な要請 ・社会的背景や事業環境の変化を踏まえ、現在の社会・経済問題として対応する必要があるか?)	必要性は薄れている (A) 必要性がある (B)	妥当	理由	
必	② 対象者のニーズ・対象者のニーズや利用者の需要・要望は増えているか?	_	減少する見込み(A) 横ばい・増加する見込み(B)	妥当	理由	
要性	③ 行政関与の必要性 ・この事業は、行政が実施する必要があるか?民間 やNPOなどでも実施可能か?		可能である (A) 可能ではない (B)	妥当	理由	
	④ 廃止した場合の影響 ・この事業を廃止した場合、どのような影響があるのか?		影響がない (A) 影響がある (B)	妥当	内容	
F	お標の達成度・EBPM※の考え方 ・指標の目標値は達成できたか?達成できなかった 場合、その理由は何か?	0 (未達成 (A) 達成 (B)		理由	
	・指標や目標値の設定根拠は? (エビデンスに基づく合理的な根拠)	達成	R6活動指標 % R6成集指標	妥当	指標の根拠	
有効性	⑥ 目的への貢献(具体的な成果) ・この事業は、意図した目的に貢献できたか。貢献 できなかった場合、その理由は何か?		貢献できなかった(A) 貢献できた(B)	妥当	理由	
L	・具体的な成果の内容は?				成果	水路敷の維持管理事業を円滑に執行した。
	⑦ 類似事業との統廃合・連携の可能性・同じ目的を持つ類似の事業があり、統廃合・連携はできるか?	0	可能性がある(A) 可能性がない(B)	妥当	理由	
効率	⑧ 費用対効果の向上・随意契約から入札への変更、デジタル化・DX、外 部委託、指定管理者制度、PFS/SIB※/等により、事 業費の削減・費用対効果の向上は可能か?		余地がある(A) 余地がない(B)	妥当	理由	水路敷の維持管理に要する最低限の費用を計上している。
	③ 業務効率化(業務時間・業務量の改善)・作業の見直しや業務改善、デジタル化・DX、外部委託、指定管理者制度等により、業務の効率化は可能か?	-	余地がある(A) 余地がない(B)	妥当	理由	水路敷の維持管理に要する最低限の費用を計上している。
公平	⑩ 受益者負担の適正化・受益者負担は公平・公正になっているか?			妥当	理由	受益者負担を求める対象ではない。
	① 制度の周知 ・対象者が公平にサービスを受けられるよう、制度 を十分に周知できているか?		できていない (A) で 500	妥当	理由	周知の必要がない。

を十分に周知できているか?

※1 EBPM (Evidence-based Policy Making) …政策の企画をその場限りのエピソードに頼るのではなく、政策目的を明確化した上で合理的根拠(エピデンス)に基づくものとすること
※2 PFS (Pay For Success) …行政課題の解決に対応した成果指標を設定し、指標値の改善状況に連動して委託費等を支払う契約方式
SIB (Social Impact Bond) …事業に係る 資金調達を金融機関等の資金提供者から行い、その 返済等を成果に連動した地方公共団体からの支払額等に応じて行うもの

改善 (Action) へ

4 評価 (Check) で (A) を選択した場合は、「(2)担当課による今後の取組」欄に反映してください。

5 改善(Action)

(1) 事業継続の評価及び見直しの区分

`	(1) 事業権機の計画及び発達しのとう													
Г	事業の適	i合率	評価の判定基準 ▶▶▶			所管課長評価 手法の適正率			率	見直し判定	見直し区分(複数選択可))選択可)
<u>-</u>	必要性 妥当		80%以上	\Rightarrow	拡大or継続		見	効率性 妥当				コスト見直し		PFS・SIB導入
沙評		100	70%以上80%未満	\Rightarrow	継続	継続	直	MTH Y	100	現行ど		作業工程等見直し		事業の統廃合・連携
価	有効性 妥当	100	60%以上70%未満	\Rightarrow	継続or縮小	和全的记	区	公平性 妥当	100	おり		デジタル化・DX		負担や周知の見直し
	17以正 女当	%	60%未満	\Rightarrow	縮小or廃止		分	ストロ 女ヨ	%			委託・指定管理		その他

70 00%未満	⇒ 縮小or廃止 ¹⁰	□ 安託・指定官理 □ その他							
(2)担当課による今後の取組									
事業推進上の課題	具体的な改善案	備考							
今 引き続き水路敷の維持管理事業の円滑な執行後 に努める。 の 取 取 組	最低限の費用であるが、可能な限り不要な支出を抑える。								

総評(Follow)へ

~	総評	I = II	low)
~	## E.W	LEOI	

 MODEL (LOUGAN)		
所管部長評価		具体的な指示事項
一次評価結果を踏まえた横 断的な視点での評価	継続	水路管理全般に係る事業を円滑に執行するために必要な経費であるが、真に必要な消耗品購入等、経費削減に努めること。